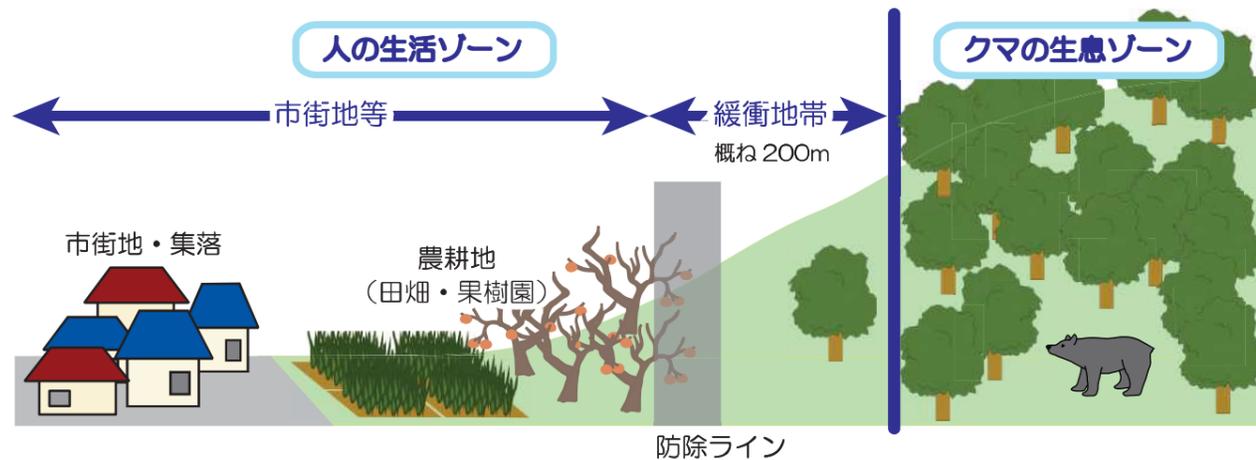


ゾーニング(棲み分け)による個体管理

クマによる被害の回避・軽減を図りながら、人とクマとの棲み分けによる共存を目指します

人間とクマとの軋轢を軽減させていくために、人間活動を優先する「人の生活ゾーン」とクマを保護する「クマの生息ゾーン」を設定し、ゾーン毎に対応方針を定めました。



人の生活ゾーン

■概念

市街地等

市街地・集落や農地など人間活動が優先される区域

緩衝地帯

人とクマの棲み分けを図る区域 (市街地等の境界から概ね200mまで)
市街地・集落と接した区域でやぶ等の刈払い、放任果樹の除去等による防除ラインの整備に努める。

※地域の実情を考慮した上で、市町村が県と協議・調整して設定します。

■クマ出没・捕獲時の対応方針

○精神的被害を含めた被害を発生させた場合は、錯誤捕獲されたクマも含め、原則殺処分します。

○過去に学習放獣したクマが再捕獲された場合は、原則殺処分します。

クマの生息ゾーン

■概念

クマを保護する区域

■クマ出没・捕獲時の対応方針

○錯誤捕獲されたクマは放獣します。

○人身事故等が発生した場合は、有害捕獲を実施します。

※「錯誤捕獲」とはシカやイノシシ用のわなに誤ってクマが捕獲されることです。



鳥取県第二種特定鳥獣(ツキノワグマ)管理計画

絶滅の危険性が高かった状況から個体数が回復したため、令和4年4月に保護計画から管理計画に変更しました。県を跨いで移動、分布するツキノワグマは地域個体群での保護管理が重要であるため、兵庫県、岡山県と連携し、広域的な保護管理を行います。詳しくは県ホームページをご覧ください。



クマの目撃情報を集めています

皆さまから寄せられた情報は、クマの生息状況を把握する際や被害対策を進めていく際に役立てられます。

■連絡先：最寄りの市町村役場または交番・駐在所

鳥取県 農林水産部 鳥獣対策課

発行：2023年3月

※無断転載・複製を禁止します

編集 (株)野生動物保護管理事務所

人とツキノワグマとの 共存を目指して

～クマを知って、被害を未然に防ごう～

鳥取県 農林水産部 鳥獣対策課

ツキノワグマってこんな動物

ツキノワグマは豊かな森林に生息する大型野生動物であり、森林生態系の中で重要な位置を占めている動物です。鳥取県、兵庫県、岡山県に跨って生息している地域個体群のツキノワグマは844頭（令和2年）いると推定されており、かつて絶滅の危険性が高かった状況から比べると生息数は大幅に回復しました。

大きさ	全長	体重
成獣オス	1.2 ~ 1.5m	55 ~ 110kg
成獣メス	1.1 ~ 1.3m	40 ~ 75kg
幼獣	0.6 ~ 1.0m	5 ~ 30kg

※1年の間に大きく変化
成獣の平均的な大きさ



優れた嗅覚を持つ

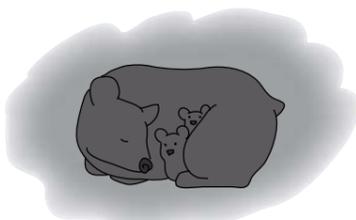


- 特徴**
- *警戒心が強く、おとなしい動物
 - *運動能力が高い（木登りが得意、人より早く走ることができる）
 - *食物への執着心が強い
- 前足も後足も指は5本あり、肉球がある

ツキノワグマの1年

*植物を中心に季節に応じて様々な物を食べています
*シカなどの死体を食べることもあります

12月頃から冬眠する
メスは2月頃に出産する

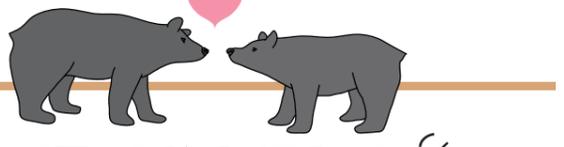


4月~5月、冬眠から覚める
(早い個体は3月)

主要な食物
前年のドングリの残り
新芽・若葉
山菜

山菜採り中の
遭遇に注意!

冬
春
秋
夏



オスや若い個体の行動範囲が広がり、
人との遭遇機会が増加!

主要な食物
昆虫（アリ・ハチ）
植物（サクラ・ノイチゴの実）

ナシの被害が始める

冬眠に向けてたくさん食べ、
脂肪を蓄える（体重増加）

主要な食物
ドングリ・クリ
ヤマブドウ・ミズキ

ドングリが不作の年は他の食物を求めて
人里への出没が増加!



人身事故を防ぐには

出会わないようにすることが一番重要!

- 周辺でのクマ出没情報をチェック
※出没情報は鳥取県のホームページで公開しています
- 入山時は複数人で行動する
- 鈴やラジオを鳴らす、声を出して人の存在を知らせる
※山菜採りに夢中になりすぎず時々周りを気に掛けて下さい
- においの強い食べ物などを持ち込まない
- クマの気配・痕跡があったらすぐその場を立ち去る

出会ってしまったら、慌てず冷静に!

- クマがこちらに気付いていない場合**
- 気付かれないよう、静かにその場を立ち去る
- クマがこちらに気付いている場合**
- ゆっくりと、背中を見せず後退する
 - クマとの間に立木などの障害物をはさむ
- ぱったり至近距離で遭遇した場合**
- 慌てず素早くクマから離れる
- クマが攻撃してきた場合**
- 手に持っている物や丈夫な木の棒などでクマの鼻先や目を攻撃する
 - クマ撃退スプレーを持っている場合は、クマの顔をめがけて噴射する
 - 攻撃を避けられない場合は、防御姿勢を取って頭・首を守る
- 子グマを見つけたらすぐにその場を立ち去る
※母グマがすぐ近くに隠れている可能性があります

クマの痕跡



子グマの近くには
母グマがいる可能性!



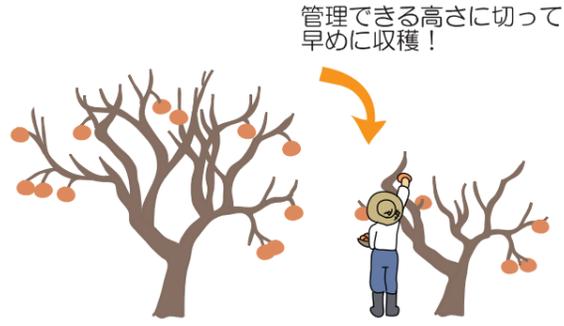
クマによる被害を防ぐには

ポイント① クマの侵入防止

- ・集落周辺の樹林の伐採、やぶの刈り払い
- ・必要に応じて電気柵等の設置

ポイント② 誘引物の除去

- ・利用しない果樹の伐採
- ・カキやクリの早期収穫
- ・住居周辺のハチの巣の除去
- ・集落周辺に生ゴミや放棄作物を放置しない
- ・食料品、ペットフード、家畜のエサ、揮発性の高い液体（ガソリン、灯油等）の管理の徹底
- ・果樹等の守る対象を電気柵で囲う



ポイント③ クマの出没が確認された場合、出没が多い時間帯の外出を避ける (早朝や夕方以降)

ご活用ください

遭遇防止のためのクマよけ鈴等の購入や、被害防止のための電気柵・金網柵等の設置・緩衝地帯の整備・放任果樹の除去等を支援しています。
■問い合わせ先：お住まいの市町村役場

